

～脳卒中 予防・治療最前線～ No1



脳卒中は日本人の死因第3位・寝たきり原因の約4割！



岩井良成
川崎幸病院統括副院長
脳神経外科部長
脳血管センター長



【脳卒中について】

最近の疫学調査では、我が国において脳卒中にかかっている患者さんは、実に 270 万人に達し、年間新たに 27 万人の方が脳卒中を発症しています。川崎幸病院におきましても、年間約 350 人、ほぼ 1 日に一人の割合で新たな脳卒中患者さんが入院しております。

この国民病の一つといわれる脳卒中とは、脳の血管がつまったり、破れたりして、その先の細胞に栄養が届かなくなって、細胞が死んでしまう病気で、大きく分けると**脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血**の**3種類**に分類されます。

脳卒中に関しては、まず以下の3点をご理解いただきたいと考えております。

1. 予防がもっとも大切であること
2. 治る可能性のある疾患であること
3. 発症時はできるだけ早く脳卒中専門の施設にかかること



【脳卒中の予防】

脳卒中の多くは生活習慣に起因します。そこで「日本脳卒中協会」が、一般の方向けに作成した「脳卒中予防10か条」を理解し実践する事が大切です。

この中では、まず脳卒中の主要危険因子である**高血圧、糖尿病、不整脈（心房細動）、喫煙、過度の飲酒、高コレステロール血症**に対する注意を喚起し、次に、**高血圧・糖尿病・高コレステロール血症**を予防するための**塩分・脂肪分控えめの食事、適度な運動、肥満を避ける**ことを勧め、最後に、万が一発症した場合の救急対応の必要性を謳っております。

予防のためには、この**10か条**をしっかりと頭に入れ守りましょう。

また、脳ドック等の検診を受ける事により、**予防可能な脳卒中**もあります。家系的に脳卒中が多い方、脳卒中10か条で思い当たる方は、40歳になったら是非脳ドックを受診される事をお勧めします。

脳卒中予防10か条

- 1 手始めに 高血圧から 治しましょう
- 2 糖尿病 放っておいたら 悔い残る
- 3 不整脈 見つかれば すぐ受診
- 4 予防には タバコをやめる 意志を持って
- 5 アルコール 控えめは薬 過ぎれば毒
- 6 高すぎる コレステロールも 見逃すな
- 7 お食事の 塩分・脂肪 控えめに
- 8 体力に 合った運動 続けよう
- 9 万病の 引き金になる 太りすぎ
- 10 脳卒中 起きたらすぐに 病院へ

脳ドック

～あなたの脳は大丈夫ですか？～

次のような方には脳ドックを推奨します。

- ◆家系に脳の病気(特にクモ膜下出血)を患った方がいる
- ◆手足のしびれや手足の動きが悪い
- ◆頭痛・めまい等がある
- ◆高血圧・糖尿病・高脂血症・肥満の方

川崎幸病院の脳神経外科専門医が担当します。

検査内容: MRI・MRA、動脈硬化検査、頸動脈エコーによる簡易脳ドック

費用: 27,000円(消費税込)

お問合せ: 川崎幸病院 脳ドック受付 ☎044-544-9881



社会医療法人財団 石心会

川崎幸病院

川崎市幸区都町39-1
044-544-4611 (代表)